

VI. 社会活動報告

社会活動に関する一覧表

活動者名（所属施設）	会の名称および講演演題等	会場および新聞名等	活動年月日
神澤輝実	自己免疫性膵炎の診療	ラジオNIKKEI 医学講座	2013. 9. 19
神澤輝実	IgG4関連疾患	読売新聞	2013. 5. 23
神澤輝実	日本発の疾患概念「IgG4関連疾患」に注目	Japn Medicine MONTHLY	2013. 4. 25
神澤輝実	東京スピリッツ賞を受賞	都政新報	2013. 3. 12
神澤輝実	自己免疫性膵炎/IgG4関連疾患	日刊ゲンダイ	2013. 3. 8
神澤輝実	東京スピリッツ賞合同表彰式を開催	都政新報	2013. 2. 22
神澤輝実	日本発の新たな疾患概念 IgG4関連疾患の潮流	週間 医学界新聞	2012. 11. 12
神澤輝実	自己免疫性膵炎への対応	ASAHI Medical	2012. 8. 1
神澤輝実	膵炎。診断難しい「自己免疫性」	読売新聞	2012. 4. 4
川茂幸	IgG4関連疾患	ラジオNIKKEI	2014/2/4
川茂幸	「自己免疫性膵炎とIgG4」、自己抗体と自己免疫	東京	2013/2/2
川茂幸	「自己免疫性膵炎とIgG4」、愛媛膵臓・代謝カンファレンス	愛媛	2012/9/22
川茂幸	「自己免疫性膵炎とIgG4」、いちよの会	仙台	2012/7/6
川茂幸	「自己免疫性膵炎とIgG4」、第29回 日本胆膵病態・生理研究会	京都	2012/6/23
川野充弘	IgG4関連疾患2014 ー鑑別すべき疾患を中心にー	第一回 富山膠原病研究会、富山	2014. 1. 30
川野充弘	腎臓からみたIgG4関連疾患の世界	第8回 北海道腎カンファレンス、札幌	2013. 11. 15
川野充弘	身近にかくれているIgG4関連疾患	福井県内科医会学術講演会、福井	2013. 5. 18
川野充弘	IgG4関連疾患2012 ー最近の話題を中心にー	福井膠原病関連疾患を考える会、福井	2012. 12. 7
川野充弘	IgG4関連疾患2012 ー腎病変の鑑別診断を中心にー	第45回静岡腎セミナー、静岡	2012. 9. 15
川野充弘	IgG4関連疾患2012 ー腎病変を中心にー	第16回兵庫県腎疾患治療懇話会、神戸	2012. 7. 20

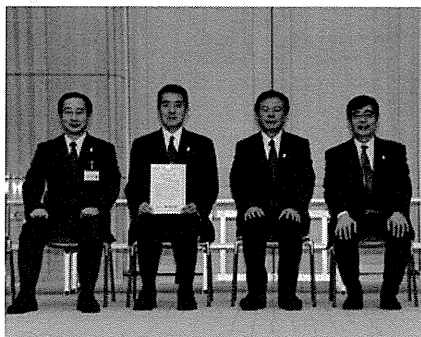
川野充弘	IgG4関連疾患2012 -腎病変の鑑別診断を中心に考える-	血圧管理を考える会、新潟	2012.6.15
川野充弘	IgG4-related disease —Initial Discovery, Evolving Concepts, Up-to-date Knowledge, Role of APRIL—	Special Seminar、ジュネーブ	2012.6.5

分担研究者：神澤輝実 第17回東京スピリット賞受賞（2013年）

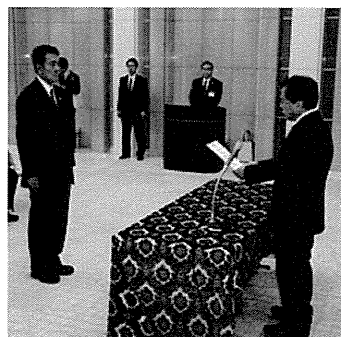
（以下、「とちょう-i (http://www.tocho-i.metro.tokyo.jp/c-up/2013/0225_spirit.html)」より転載）

東京スピリット賞を受賞して～受賞者のコメント～

2月20日に表彰式が行われた第17回東京スピリット賞。今回、「すい臓癌と誤診される自己免疫性すい炎を鑑別する方法の開発」で受賞された病院経営本部駒込病院の神澤輝実さんに受賞のご感想などをお寄せいただきました。



左：知事との記念撮影（左から2番目が神澤さん）



右：知事から賞状を受け取る神澤さん

■「すい臓癌と誤診される自己免疫性すい炎を鑑別する方法の開発」

病院経営本部 駒込病院内科 神澤輝実さん

この度、第17回東京スピリット賞を頂き、大変光栄に思っております。

従来確固たる治療法がなく原因不明とされてきた諸臓器に硬い腫瘤を作る病気の一部が、IgG4という免疫グロブリンが関連する全身性の疾患（IgG4関連疾患）であることを突き止めました。IgG4関連疾患は全身のあらゆる臓器に起こり、現在世界的に注目されています。本疾患は21世紀の医学の新しい1ページを飾る疾患概念と言っても過言でないと思います。

自己免疫性膵炎は、膵臓がんとの鑑別が難しい疾患ですが、ステロイドがよく効きますので、無用な手術を避けるためにも正確な診断が必要となります。

東京都立駒込病院の消化器内科には全国から診療が難しい膵臓疾患の患者さんが多数紹介されてきますが、最新の設備で総力を挙げて適切な診断・治療を行うべく努力しております。

これからも、皆様の健康のお役にたてるよう努力するとともに、医学の発展に貢献したいと思います。

背景

問題

・膵臓がんの診断で手術により切除された症例の中に、がんではなく膵臓に硬い腫瘤を作る慢性炎症があったこと、「自己免疫性膵炎」

治療法不明

・膵臓以外にも産産腺、涙腺、乳腺などに腫瘤を作り、悪性腫瘍が疑われ切除される特殊な原因不明の炎症性病変があった



硬い膵腫瘍

功績

自己免疫性膵炎の病態説明

・世界初の診断基準の作成
・膵臓がんとの鑑別方法を考案し国際基準に
・ステロイド標準的治療法を作成

2003年世界に提唱

・自己免疫性膵炎は、IgG4という免疫グロブリンが関係する全身性疾患の総病変である

効果

世界的に認知

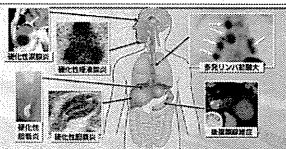
・IgG4関連疾患は、全世界に認知され、21世紀の新しい医学の1ページとして注目

誤診の解消

・自己免疫性膵炎の疾患概念の確立と普及により、膵臓がんと診断され切除される症例は著しく減少

診療依頼

・国内のみならず世界中から診療困難なIgG4関連疾患の診療依頼が来ている



東京スピリット賞を受賞

がん感染症センター
都立駒込病院内科部長
神澤 輝実さん



ひと

「臓器がんを根治さ
れる自己免疫性膵炎を
鑑別する方法の開発」
と銘じ、東京スピリッ
ト賞に輝いた。

医大を出て駒込病院
で臨床研修。内科科に
2年在籍した後、消化
器内科の医師となっ
た。以来、四半世紀を
臨床と研究に費やし、

「膵臓と直結した研究
が臨床にも生かされ
る。評価されて、うれ
しい」といふのが、こ
なこういふ思いで語す。

1981年に膵臓がん
の診断で切除された

膵臓が特殊な総括性腫
瘍であつたことを驚か
し、病棟の病棟科が病
や信州大が、自己免疫
性膵炎という概念を思
者の血中にIgG4と
いう免疫グロブリンが
上昇することを発見
その頃、20例ほどの

自己免疫性膵炎を診
いて、単なる膵炎では
なく他の臓器も併し
た全身性疾患はない
かと疑い、それを突き
止めて、03年に「I
G4関連硬化性膵炎」
700例、膵炎をがん
だと手術してしまつて
先立ち02年には肝臓
も、がんを腫瘍と思
つて処置が施されても

「己免疫性膵炎の診断基
準も作成し、世界に発
信している。

日本には自己免疫性
膵炎の患者は、02年が
1700例、07年は
700例、膵炎をがん
だと手術してしまつて
先立ち02年には肝臓
も、がんを腫瘍と思
つて処置が施されても

「医学の発展に貢献す
ることを日々目指し、
日本の臨床の中から疑
問を抱えて研究す
る」といふ。

自己免疫性膵炎につ
いては、①発症機序の
解明、②アミノ酸が効
くが、再発例を含めた

「東宮都生まれ、82年
弘前大医卒。駒込病院
に、08年現職。医学博
士。日本膵臓学会、日
本胆膵学会の理事。ア
メリカ消化器病学会
フェロー。臨床と研究を
並進した。

「がんも取り返しがつ
かない」と、正確な診
断が何よりも重要だ。
駒込病院には、紹介
状を携えて患者が来院
し、アドバイスを求め
て世界中からメールも
送られてくる。

昨夏には、自身も膵
臓癌を発症した患者
を研究する「I&G
4関連疾患に関する調
査研究班」が新設。そ
の班長で、尊敬する京
大の千葉勉氏の「患者
は生涯、科学者たるべ
し」を座右の銘とし、

標準的治療法の確立④
アジア型と欧米型があ
り、国際的にどう統一
するか⑤全身性疾患の
鑑別⑥膵臓がんの発症
メカニズムの解明――
など、研究は続く。

100を超す英文論
文で日本発の疾患概念
を世界に普及。研究の
先頭を走っているが、
科の若い医師も「同じ
ように臨床の疑問点を
研究し、英文論文を発
表している」とうれし
そう。自身も「受賞は
通過点だ。」(田)

2013年(平成25年)3月8日(日曜日)

ゲンダイ

この有名病院のエースたち

自己免疫性膵炎／I G G 4 関連疾患

神澤 輝実 部長
がん・感染症センター都立駒込病院消化器内科 (東京都品川区)



ステロイドの 飲み薬で治療



「膵臓がんを根治さ
れる自己免疫性膵炎を
鑑別する方法の開発」
と銘じ、東京スピリッ
ト賞に輝いた。

医大を出て駒込病院
で臨床研修。内科科に
2年在籍した後、消化
器内科の医師となっ
た。以来、四半世紀を
臨床と研究に費やし、

「膵臓と直結した研究
が臨床にも生かされ
る。評価されて、うれ
しい」といふのが、こ
なこういふ思いで語す。

1981年に膵臓がん
の診断で切除された

膵臓が特殊な総括性腫
瘍であつたことを驚か
し、病棟の病棟科が病
や信州大が、自己免疫
性膵炎という概念を思
者の血中にIgG4と
いう免疫グロブリンが
上昇することを発見
その頃、20例ほどの

自己免疫性膵炎を診
いて、単なる膵炎では
なく他の臓器も併し
た全身性疾患はない
かと疑い、それを突き
止めて、03年に「I
G4関連硬化性膵炎」
700例、膵炎をがん
だと手術してしまつて
先立ち02年には肝臓
も、がんを腫瘍と思
つて処置が施されても

「医学の発展に貢献す
ることを日々目指し、
日本の臨床の中から疑
問を抱えて研究す
る」といふ。

自己免疫性膵炎につ
いては、①発症機序の
解明、②アミノ酸が効
くが、再発例を含めた

「東宮都生まれ、82年
弘前大医卒。駒込病院
に、08年現職。医学博
士。日本膵臓学会、日
本胆膵学会の理事。ア
メリカ消化器病学会
フェロー。臨床と研究を
並進した。

「がんも取り返しがつ
かない」と、正確な診
断が何よりも重要だ。
駒込病院には、紹介
状を携えて患者が来院
し、アドバイスを求め
て世界中からメールも
送られてくる。

昨夏には、自身も膵
臓癌を発症した患者
を研究する「I&G
4関連疾患に関する調
査研究班」が新設。そ
の班長で、尊敬する京
大の千葉勉氏の「患者
は生涯、科学者たるべ
し」を座右の銘とし、

標準的治療法の確立④
アジア型と欧米型があ
り、国際的にどう統一
するか⑤全身性疾患の
鑑別⑥膵臓がんの発症
メカニズムの解明――
など、研究は続く。

100を超す英文論
文で日本発の疾患概念
を世界に普及。研究の
先頭を走っているが、
科の若い医師も「同じ
ように臨床の疑問点を
研究し、英文論文を発
表している」とうれし
そう。自身も「受賞は
通過点だ。」(田)

VII. 研究事業報告

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業）

「IgG4 関連疾患に関する調査研究」

平成 24 年度 第 1 回班会議 プログラム

日時： 平成 24 年 8 月 18 日（土）10 時 30 分～17 時 30 分

会場： 京都大学芝蘭会館 稲盛ホール（2F）

京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内

TEL: 075-753-9336

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業）

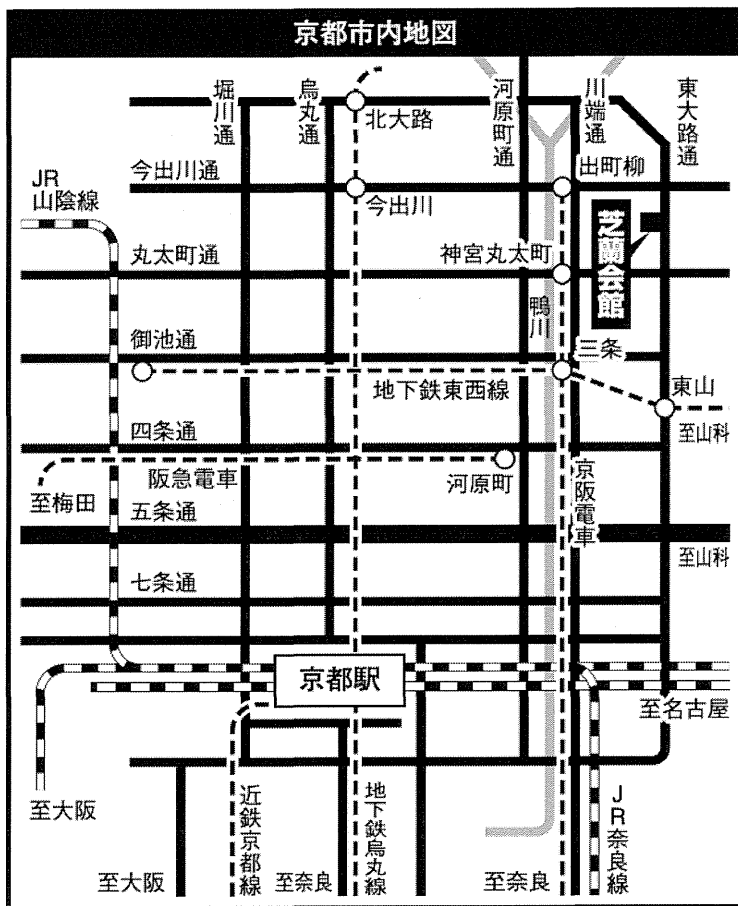
「IgG 4 関連疾患に関する調査研究」












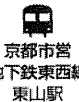






京都大学大学院医学研究科消化器内科 事務局

TEL:075-751-4302 FAX:075-751-4303

E-mail: maogawa@kuhp.kyoto-u.ac.jp

交通機関のご案内



主要鉄道駅	利用交通機関	乗車バス停	市バス系統・経路	所要時間	下車バス停	
 JR・近鉄 京都駅	 市バス (D2乗り場)	京都駅前	206系統 「東山通北大路バスターミナル」行	約35分	 京大正門前  徒歩2分	
	 タクシー			約20分		
 阪急 河原町駅	 市バス (出口6番)	四条河原町	201系統 「祇園 百万遍」行 31系統 「東山通 高野 岩倉」行	約25分		
	 タクシー (出口4・5番)			約10分		
 京都市営 地下鉄烏丸線 今出川駅	 市バス (出口3番)	烏丸今出川	201系統 「百万遍 祇園」行	約15分		
	 タクシー (出口3番)			約5分		
 京都市営 地下鉄東西線 東山駅	 市バス (出口2番)	東山三条	206系統 「高野 千本北大路」行 201系統 「百万遍 千本今出川」行 31系統 「東山通 高野 岩倉」行	約10分		
	 タクシー (出口2番)			約5分		
 京阪 出町柳駅	 市バス (出口4番)	出町柳駅前	201系統 「祇園 みぶ」行	約5分		
	 タクシー (出口6番)			約3分		
 徒歩約15分 (出口2・4番)						

【班会議会場に関するご案内】

※会場である芝蘭会館は、本館・別館ともに禁煙となっております。

※また、本館 2 階 稲盛ホール内は全面飲食禁止となります。飲食物のお持ち込みは頂けません。

このため、班会議時における昼食は、午前中の議題が終了後、別会場(本館山内ホールにおける和食お弁当もしくは別館レストランしらんにおける洋食ランチ)にてご用意させていただきます。昼食数は準備しておりますが、それぞれご希望の数が一定数を上回りますと、種類はご選択いただけません。ご了解賜りますよう、お願い申し上げます。

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業）
「IgG4 関連疾患に関する調査研究」

平成 24 年度 第 1 回班会議 プログラム（敬称略）

日時：平成 24 年 8 月 18 日（土）10 時 30 分～17 時 30 分

会場：京都大学芝蘭会館 稲盛ホール(2F)

【午前】

- | | | | |
|------------|-------------------|----------------------------------|------------------------------|
| 1) 研究代表者挨拶 | 10 : 30 ~ 10 : 40 | 京都大学 | 千葉 勉 |
| 2) 前研究班報告 | 10 : 40 ~ 11 : 10 | 金沢医科大学
関西医科大学 | 梅原久範
岡崎和一 |
| 3) 共同研究案説明 | 11 : 10 ~ 12 : 00 | 京都大学
京都大学
関西医科大学
金沢医科大学 | 千葉 勉
松田文彦
岡崎和一
正木康史 |

休憩・昼食 12 : 00 ~ 13 : 15

同上昼食時

研究分担者・分科会リーダー会議（芝蘭会館別館・会議室 1）

【午後】

4) 分科会計画説明

13:15～15:00

- | | | |
|--------------------|-----------|------|
| ① 内分泌神経領域分科会 | 和歌山県立医科大学 | 赤水尚史 |
| ② ミクリッツ病関連分科会 | 金沢医科大学 | 梅原久範 |
| ③ 胆膵領域分科会 | 関西医科大学 | 岡崎和一 |
| ④ IgG4関連眼疾患分科会 | 東京医科大学 | 後藤 浩 |
| ⑤ IgG4関連腎臓病分科会 | 金沢大学 | 川野充弘 |
| ⑥ 呼吸器領域分科会 | 信州大学 | 久保恵嗣 |
| ⑦ 病理診断（リンパ腫も含む）分科会 | 岡山大学 | 吉野 正 |

コーヒーブレイク 15:00～15:15

5) 個別研究発表（公募）

15:15～17:30

- | | |
|--|------|
| ①マイクロ RNA 発現プロファイルの網羅的解析による自己免疫性膵炎の病態
解明と新規バイオマーカーの探索
東北大学消化器病態学 | 菅野 敦 |
| ②自己免疫性膵炎感受性遺伝子解析の進捗状況
信州大学法医学 | 太田正穂 |
| ③IgG4 関連疾患のトランスクリプトーム解析
金沢医科大学血液免疫内科学 | 中島章夫 |
| ④IgG4 関連疾患のバイオマーカー探索
鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学 | 沼田政嗣 |
| ⑤IgG4 関連疾患（IgG4-RD）における IgG4 クラススイッチと線維化の分子
メカニズムの解析～シェーグレン症候群（SS）との比較～
筑波大学膠原病・リウマチ・アレルギー | 坪井洋人 |
| ⑥IgG4 関連疾患患者血清の IgG 画分と反応するペプチドミモトープの同定
静岡県立大学臨床薬効解析学 | 伊藤邦彦 |
| ⑦IgG4 関連腎臓病における APRIL 発現の検討
金沢大学リウマチ・膠原病内科 | 山田和徳 |

- ⑧IgG4 関連ミクリッツ病の病態形成における IL-21 の関与
九州大学口腔顎顔面病態学講座 森山雅文
- ⑨接着制御分子 RAPL/Mst1 と IgG4 関連疾患との関連解析
関西医科大学附属生命医学研究所 木梨達雄
- ⑩IgG4 関連疾患の一部は” B-cell lymphoid dyscrasia” の可能性がある
獨協医科大学病理 小島 勝
- ⑪IgG4 関連疾患の組織像とマクロファージの関連
倉敷中央病院病理検査科 能登原憲司
- ⑫IgG4 関連疾患と IgG4 甲状腺炎
神戸常盤大学保健科学部医療検査学科 覚道健一
- ⑬IgG4 関連皮膚疾患の臨床病理学的解析
岡山大学病理学分野 竹内真衣
- ⑭膵癌とそれに伴う膵炎における IgG4 陽性細胞の検討
関西医科大学消化器肝臓内科 福井由理
- ⑮悪性腫瘍と自己免疫性膵炎の関係
京都大学消化器内科 塩川雅広
- ⑯IgG4 関連疾患における治療指針の確立と活動期・寛解期判定の検討
昭和大学消化器内科 吉田 仁

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業）

「IgG4 関連疾患に関する調査研究」

平成 24 年度 第 2 回班会議 プログラム

日時： 平成 25 年 2 月 23 日（土）10 時 00 分～17 時 40 分(予定)

会場： 京都大学楽友会館

京都市左京区吉田二本松町

TEL: 075-753-7603

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業）

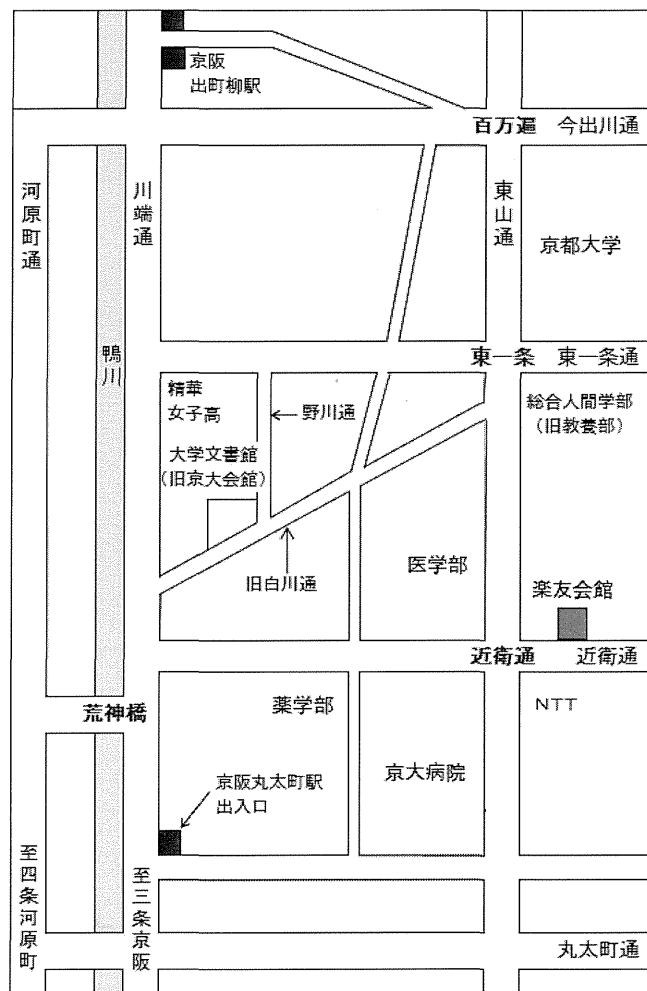
「IgG4 関連疾患に関する調査研究」

京都大学大学院医学研究科消化器内科 事務局

TEL:075-751-4302 FAX:075-751-4303

E-mail: maogawa@kuhp.kyoto-u.ac.jp

会館へのアクセス



市バス 「近衛通 (このえどおり)」 下車 徒歩すぐ

※交通事情等で延着することがありますのでご了承ください。

- JR「京都駅」から
市バス D2 のりば、206 系統「東山通 北大路バスターミナルゆき」、乗車時間約 30 分
- 阪急「河原町駅」、京阪「四条駅」から
市バス 201 系統、「祇園・百万遍ゆき」、乗車時間約 20 分
市バス 31 系統、「東山通 高野・岩倉ゆき」、乗車時間約 20 分
- 東山三条から
市バス 201 系統「百万遍・千本今出川ゆき」、乗車時間約 10 分
市バス 206 系統「高野 北大路バスターミナルゆき」、乗車時間約 10 分

駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください

会場が狭いためクロークを設置しておりません。お荷物は各自でお持ち下さい

厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患等克服研究事業）
「IgG4 関連疾患に関する調査研究」

平成 24 年度 第 2 回班会議 プログラム（最終版）（敬称略）

日時：平成 25 年 2 月 23 日（土）10 時 00 分～17 時 40 分
会場：京都大学楽友会館

【午前】 個別分科会 10：30～

*呼吸器領域分科会のみ 10 時開始となります

- | | | | |
|---------------------------|--------|-----------|------|
| ① 呼吸器領域分科会（2F 会議室 2） | 10：00～ | 信州大学 | 久保恵嗣 |
| ② 内分泌神経領域分科会（2F 会議室 1） | | 和歌山県立医科大学 | 赤水尚史 |
| ③ ミクリッツ病関連分科会（1F 会議室） | | 金沢医科大学 | 梅原久範 |
| ④ 胆膵領域分科会（2F 会議・講演室） | | 関西医科大学 | 岡崎和一 |
| ⑤ IgG4 関連眼疾患分科会（2F 会議室 3） | | 東京医科大学 | 後藤 浩 |
| ⑥ IgG4 関連腎臓病分科会（2F 会議室 5） | | 金沢大学 | 川野充弘 |

休憩・昼食 12：15～13：15

同上昼食時

研究分担者及び分科会リーダー会議（1F 会議室）

【午後】 合同発表

- (1) 研究代表者挨拶 13:15～13:30
京都大学 千葉 勉
- (2) 共同研究発表 13:30～14:10
- ① IgG4 関連疾患における疾患関連遺伝子の解析
京都大学 松田文彦
- ② IgG4 関連疾患と悪性疾患の全国調査
関西医科大学 岡崎和一
- ③ 自己免疫性膵炎の再発に対するステロイド維持療法の有用性に関する多施設 RCT
東北大学 正宗 淳
- ④ IgG4-RD (IgG4 関連疾患) のステロイド治療指針を決定するための第 II 相多施設
共同前方視的臨床研究
金沢医科大学 正木康史
- (3) 分科会発表 14:10～15:20
- ① 内分泌神経領域分科会 和歌山県立医科大学 赤水尚史
- ② ミクリッツ病関連分科会 金沢医科大学 梅原久範
- ③ 胆膵領域分科会 関西医科大学 岡崎和一
- ④ IgG4関連眼疾患分科会 東京医科大学 後藤 浩
- ⑤ IgG4関連腎臓病分科会 金沢大学 川野充弘
- ⑥ 呼吸器領域分科会 信州大学 久保恵嗣
- ⑦ 病理診断 (リンパ腫も含む) 分科会 岡山大学 吉野 正
- (4) 個別研究発表 15:20～17:40
- ①IgG4 関連ミクリッツ病の唾液腺分泌機能に対する早期治療の有用性
札幌医科大学医学部内科学第一講座 山本元久
- ① IgG4 関連腎臓病 43 例の臨床経過
長岡赤十字病院内科 佐伯敬子
- ② IgG4 関連動脈周囲炎の臨床的特徴とステロイド治療後の経過に関する検討
金沢大学リウマチ膠原病内科 水島伊知郎
- ④IgG4 関連甲状腺炎に関する検討
信州大学健康安全センター 川 茂幸

- ⑤IgG4 関連疾患からの発癌に関する検討
東京大学消化器内科 平野賢二
- ⑥自己免疫性膵炎と血小板減少性紫斑病の合併
京都大学消化器内科 塩川雅広
- ⑦IgG4 関連疾患における肝病変：自己免疫性肝炎例の解析
鹿児島大学消化器疾患・生活習慣病学 井戸章雄
- ⑧AIP に合併する大腸炎における腸管粘膜 IgG4 陽性形質細胞の解析
慶應義塾大学消化器内科 佐伯恵太
- ⑨IgG4 関連疾患の病理診断における免疫染色基準の妥当性
—連続する 40 病変の検討—
倉敷中央病院病理検査科 能登原憲司
- ⑩IgG4 関連涙腺・唾液腺炎(IgG4-DS)の病態形成における IL-33 の関与
九州大学口腔顎顔面病態学講座 森山雅文
- ⑪IgG4 関連疾患の病態形成におけるマスト細胞の関与
岡山大学病理学分野 佐藤康晴
- ⑫接着制御分子 RAPL/Mst1 と IgG4 関連疾患との関連解析
関西医科大学附属生命医学研究所 富山 尚
- ⑬自己免疫性膵炎（AIP）動物モデルを用いた膵外病変（OOI）の検討
—IgG4 関連疾患における多臓器病変の視点から—
昭和大学消化器内科 吉田 仁
- ⑭マイクロ RNA 発現プロファイルの網羅的解析による自己免疫性膵炎の
病態解明・新規バイオマーカーの同定
東北大学消化器内科 濱田 晋
- ⑮トランスクリプトーム解析による IgG4 関連疾患の病因解明
～自然免疫関連遺伝子発現の異常～
金沢医科大学・血液免疫内科学 中村拓路
- ⑯IgG4 関連疾患および全身性自己免疫疾患における IgG4 型抗核抗体の検索
京都大学臨床免疫学 吉藤 元
- ⑰IgG4 関連疾患における好中球細胞外トラップ（NETs）と
形質細胞様樹状細胞（pDC）の関与
京都大学血液・腫瘍内科 新井康之

(5) 閉会のあいさつ

平成 25 年度厚生労働省
難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）

「IgG4 関連疾患に関する調査研究」班 班会議

場所： シェラトン ワイキキ ホテル（ホノルル、アメリカ）

日時： 2014 年 2 月 16 日（日）～18 日（火）

日程：

2014 年 2 月 16 日 午後 1 時-5 時

[分科会活動]

（胆膵領域、ミクリッツ関連、眼科領域、呼吸器疾患、腎疾患、病理、リンパ節、神経内分泌領域）

- 1) 各領域での、診断基準、治療指針、診療ガイドライン、重症度分類作成、改訂に向けての討議
- 2) 国際会議での各臓器の診断基準作成に向けて、日本の統一見解の検討

2014 年 2 月 17 日 午後 6 時-9 時

[全体会議]

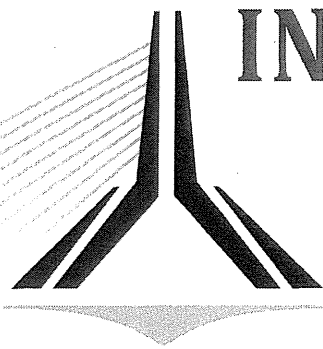
- | | |
|--------------------------------|-------|
| 1) 日本の IgG4 関連疾患包括診断基準の再検討 | 三森 経世 |
| 2) 日本人 IgG4 関連疾患患者の関連遺伝子研究結果報告 | 松田 文彦 |
| 3) 自己免疫性膵炎患のステロイド治療臨床試験結果報告 | 下瀬川 徹 |

2014 年 2 月 18 日 午後 5 時 30 分-8 時 30 分

[全体会議]

- | | |
|-----------------------------|-------|
| 1) 日本の IgG4 関連硬化性胆管炎診断基準の検討 | 岡崎 和一 |
| 2) 日本の IgG4 関連硬化性胆管炎の実態調査報告 | 川 茂幸 |
| 3) IgG4 関連硬化性胆管炎の画像診断の検討 | 神澤 輝実 |





INTERNATIONAL SYMPOSIUM

on IgG4-RD & Associated Conditions

SYLLABUS

February 16-19, 2014

Sheraton Waikiki Hotel

Honolulu, Hawaii